



令和5年度 北海道帯広養護学校 学校経営方針

学校教育目標

令和5年4月1日

明るく、豊かに、たくましく、自ら考え、社会に生きる人を育てる

目指す教職員の姿

- 自主性・主体性を重視した指導のできる教職員
- 主体的に取り組み、学び続ける教職員
- 児童生徒、保護者、同僚と共感・共同し合える教職員

目指す学校の姿

- 共に学び、共に育つ学校
「児童生徒と学び 保護者と学び 地域と学ぶ」
- 児童生徒が通いたいと思える(学びのある)学校
 - 保護者が通わせたいと思える(信頼される)学校
 - 地域が共に育てたいと思える(貢献する・開かれた)学校
 - 教職員が働きたいと思える(協働する・学び合う)学校

目指す児童生徒の姿

- 学んだことを生活に活かせる児童生徒
- 自分のことばで、理解・表出できる児童生徒
- 自分で考え、やりたいと思える児童生徒

令和5年度 重点教育目標

- 児童生徒一人一人の障がいの状態や特性に応じた授業力及び実践力の向上に努める。

令和5年度 経営の重点実践事項

1 安全・安心な学校

- ・安全で安心した教育活動を提供するために常に学校の安全や感染症予防の意識をもち、学習環境や危機管理体制の整備充実を図る。
- ・教育公務員としての自覚と責任をもち、法令・法規の遵守及び服務規律を厳正に保持する。
- ・狭隘化解消に向けて関係機関と積極的な連携を図る。

2 教育課程の編成・実施

- ・「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「どのように指導・支援するか」の視点から教育計画と授業改善の充実を図る。

3 地域との連携

- ・地域や保護者、関係機関などと連携し、地域における体験的な学習をとおして、職業体験及び地域貢献活動の充実を図る。
- ・地域の小、中学校との交流及び共同学習の充実と居住地校交流を推進する。

4 ICTの活用

- ・児童生徒一人一人の特性に応じたICT機器の活用に向けた研修の充実を図る。

5 働き方改革

- ・教職員が心身ともに健康でやりがいをもって児童生徒の指導・支援を行うことができるように校務分掌の業務内容や再編や、指導体制の見直しなどを行う。

6 情報発信の充実

- ・日々の教育活動や学習の成果を保護者にタイムリーで分かりやすい情報発信を行う。

令和5年度 指導の重点実践事項

1 安全・安心な学校

- ・発達段階や生活年齢に応じた呼称や態度、言葉遣いに留意し、児童生徒の人権や個性を尊重する。
- ・防災及び感染症の予防等、健康で安全な生活環境を整え、心身の健康の保持・増進を図る。
- ・狭隘化による限られた施設設備の有効活用を推進する。

2 教育課程の編成・実施

- ・キャリア発達と12年間の系統性を踏まえ、児童生徒一人一人に応じた教育課程を編成し、計画的な実施、評価、改善に努める。
- ・生活年齢に応じた適切な社会性や道徳性を養い、基本的生活習慣やコミュニケーション力を身に付ける指導の充実に努める。

3 地域との連携

- ・地域や保護者、関係機関などと連携し、地域資源を積極的に活用するとともに、児童生徒の自立を促す効果的な教育活動を行う。
- ・地域の小、中学校との連携による地域の特別支援教育の推進・充実に努め、特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。

4 ICTの活用

- ・児童生徒一人一人の特性に応じたICT機器の活用と教育環境の整備を推進し、教育活動の充実に努める。

5 働き方改革

- ・教職員が同僚性を発揮し、協力・協働や役割分担に基づいた組織的な業務と効果的な会議の在り方を推進するとともに質の高い教育活動を実践する。

6 情報発信の充実

- ・個別の指導計画、個別の教育支援計画、個別生活支援計画を活用し、保護者と連携を図り、児童生徒の成長や発達とともに喜び合える教育を行う。
- ・地域に本校の教育活動を発信するとともに理解・啓発を促す教育活動を更に充実させる。